

学校関係者評価報告書

愛媛県立長浜高等学校

評価実施日	令和7年2月19日(水)
評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 授業評価アンケートにおいては、高評価を維持することができている。家庭学習時間においても個人差はあるが、目標達成となっている。生徒たちの意欲的に学ぶ姿が感じられ、ただ知識を得るというのではなく、考え工夫する様子も見られる。</p> <p>(2) 進路指導 進学率が上がっており、四年制大学への合格者も増えている。多岐にわたる進路希望に対する、個々に応じた指導の効果がみられる。</p> <p>(3) 生徒指導 部活動においては、全国大会への出場や1年生の活躍が見られ、喜ばしい。生活面においては、単身生活生徒が少し心配である。自分でやらなければならないことが増えるという生活の変化が、生徒や保護者にとって心の負担になることもあると思う。地域住民としてできることがあれば協力したい。</p> <p>(4) 健全育成 様々な活動に意欲的に取り組む様子が伝わり、学校生活に満足している生徒が多いように感じる。学校外で関わるときも、素直でとても明るい様子やお礼をしっかりと伝えてくれる様子を見て、うれしい気持ちになった。ボランティアにもまた積極的に活動してもらいたい。</p> <p>(5) 特色ある学校づくり 水族館運営や、地域活性化に向けた探究活動「地域探究プログラム」など、地域活動の活躍が素晴らしい。受験者数の増加からも、中学生にも良い影響を与えていることが分かる。また、地域の活性化だけでなく、生徒自身の生きる力の育成にもつながっている。来年度からも期待したい。</p> <p>2 評価・公表について 単身生活生徒の保護者は特に、学校の様子が見えにくく心配であると思う。学校通信やホームページなどを通して更に情報発信ができると良い。</p> <p>3 学校運営への提言 よく努力されており、日頃の教育の成果が出ていると思う。単身生活生徒をはじめとする生徒の保護者は様々な面で心配されているが、学校や地域の行っているサポート・工夫が伝わればよいと思う。今後も生徒の活躍を期待している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態把握及び能力の把握に努め、主体的に取り組むことのできるような学習態度を育成していく。 ・それぞれの生徒の学習意欲や能力に応じた指導ができるよう、工夫・改善しながら取り組んでいく。 ・大学進学希望者や複数の大学を受験する生徒が増えてきている。生徒にとって適切な進路選択になるよう、引き続き指導を行っていく。進路ガイダンスや合同企業説明会といった意識啓発の機会も効果的に活用する。 ・運動部、文化部共に全国大会出場を果たしており、よく頑張っている一方で、欠席も多い。理由は様々であるが、生徒が規則正しい生活をし前向きに登校できるよう、個々に寄り添った援助を行っていく。単身生活生徒は特に注意深く見守り、保護者とも密に連絡を取り合うことで信頼関係を築いていきたい。 ・面談やアンケートを活用し、生徒の状況の把握をより一層進める。特に単身生活生が多くなっているため、積極的に話を聞くよう努める。 ・日頃サポートをしてくれている地元の方のために、また、地域の活性化に向けて、数多くの生徒がボランティア活動に参加するよう意識啓発を行う。 ・地域探究プログラムや授業、部活動等において地域の課題解決に主体的に取り組むための意識啓発を行い、地域に根差した活動・研究を今後も継続していく。 ・水族館に関しては、現在も進化している途中である。設備をもっと整えて、より幅広い活動ができる水族館にしていきたい。 ・学校の様子や教育活動の状況、生徒の活躍ぶりがよく伝わるような情報発信を今後も継続し、保護者や地域の理解が一層深まるようにする。 ・学校評価アンケートの結果やいただいた提言を基に、地域の協力をいただきながら今後更に魅力ある学校づくりを進めていく。